

# 環境報告書 2017



*Creation & Harmony*



**SK-Electronics CO., LTD.**

# 「自然との調和」 *Harmony*



## コンテンツ

ごあいさつ	02	社内環境活動	05
環境への取り組み	02	社会貢献活動	06
環境活動の歩み	03	環境保全活動	08
環境管理組織	03	今後の取り組み	08
環境マネジメントへの具体的取り組み	04	会社概要	08

## 編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

## ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境保全や環境負荷低減のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

石川 伸

## 環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を、2002年に京都工場、2011年に滋賀工場で取得しました。

また、環境理念に基づく8つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成するために環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申しあげます社内環境活動や社会貢献活動、環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

### 経営理念 「創造と調和」

**環境理念** 私たちは、経営理念に基づき、常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

- 環境方針**
1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
  2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献(3R※の実践)し、環境保護に努めます。
  3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
  4. 関連する環境法令や規制及び協定等を順守いたします。
  5. 環境教育を実施し、環境意識の向上を図ります。
  6. 社会貢献活動を実施します。
  7. 環境パフォーマンスを向上させるために環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
  8. この方針は社員に周知徹底すると共に、一般にも公開いたします。

※3R…Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)





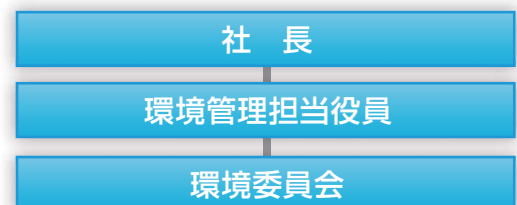
## 環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加
	5月～10月	京都工場近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置
	7月	京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称・流れ橋)付近地域清掃」を実施
	11月	本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施 発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始 滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加
	5月～10月	京都工場近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	10月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
	11月	「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加
2011年	5月～10月	京都工場近隣3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	9月	滋賀工場でISO14001拡張認証取得
2012年	3月	「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加
	5月～9月	京都工場近隣3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
2013年	11月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2014年	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
2016年	4月	第1回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」を実施
	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	12月	第8回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2017年	5月	第9回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	9月	第2回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」を実施

## 環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組めます。

### 環境管理組織図



# 環境マネジメントへの具体的取り組み

## 環境目標

### 環境3ヵ年計画の実績

#### 第1期 (2001年10月～2004年9月)

第1期は、CO<sub>2</sub>削減と廃棄物削減に取り組みました。CO<sub>2</sub>削減(売上原単位\*)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をすることができました。  
※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

#### 第2期 (2004年10月～2007年9月)

第2期の計画は、引き続きCO<sub>2</sub>および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。CO<sub>2</sub>削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

#### 第3期 (2007年10月～2010年9月)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動がないよう取り組んでいくこととしました。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3ヵ年計画では再度目標に掲げて削減を推進することといたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組むことといたしました。

#### 第4期 (2010年10月～2013年9月)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減(原油換算)の3つの目標を掲げました。残業時間の削減については、毎年3%、3年間で9%の削減を目指し、最終的に11%の削減を達成しました。コピー用紙の削減・エネルギー使用量削減については、毎年2%、3年で6%の目標に対し、コピー用紙は電子決裁システムの導入やミスコピーの撲滅活動等により3年間で19%の削減、エネルギー使用量はエレベーター等省電力設備の導入や節電意識の高揚により14%の削減を達成することができました。

#### 第5期 (2013年10月～2016年9月)

第5期は、「改正省エネ法」に対する全社的な取り組みを重点課題として、エネルギー使用量削減(原油換算)を目標に設定しました。その結果は、3ヵ年トータルで3%削減の目標に対して、京都工場は1.9%の削減、滋賀工場は1.3%の削減と、様々な施策を実施したものの目標未達成に終わりました。

#### 第6期 (2016年10月～2019年9月)

第6期は、前期に引き続いて「エネルギー使用量削減(延床面積原単位)」の目標に加えて、新たに「有害物質に配慮した製品含有化学物質管理」を目標に掲げました。これは国内外で製品への使用が禁止されている化学物質について、当社でも製品へ含有しないよう管理を徹底するものです。実績の詳細については、5ページに記載のとおりです。

## 京都工場

### ●エネルギー使用量削減

京都工場では「省エネ法」の計画目標にリンクさせ、「延床面積原単位におけるエネルギー使用量の前年度比および過去5年平均1%以上削減」を目標として、省エネ設備へのリニューアルや一部LED照明への更新等の施策を実施しました。その結果、前年度比は0.7%削減で未達成、過去5年平均では1.0%削減で達成となりました。

### ●有害物質に配慮した製品含有化学物質管理

「当社製品への禁止物質含有ゼロ」の目標に対して、新材料・新薬品の導入時に禁止物質でないことの確認を徹底することにより、「禁止物質含有ゼロ」を達成しました。

## 滋賀工場

### ●エネルギー使用量削減

滋賀工場でも京都工場と同様に、「延床面積原単位におけるエネルギー使用量の前年度比および過去5年平均1%以上削減」を目標として、前年から引き続き行っていた活動を更に強化することにより、目標達成を目指しました。その結果はクリーンルームエリアの増床の影響もあり前年度比は0.1%の増加で未達成となりましたが、過去5年平均では1.0%削減で達成となりました。

### ●有害物質に配慮した製品含有化学物質管理

滋賀工場においても京都工場と同様、「当社製品への禁止物質含有ゼロ」の目標に対して、新材料・新薬品の導入時に禁止物質でないことの確認を徹底することにより、「禁止物質含有ゼロ」を達成しました。

## 社内環境活動

### ●滋賀農園

滋賀工場では3年前より、社内環境活動の一環として、敷地内の畑で野菜を育てています。自然の恵みが畑で実っている“でき立て”を直接目にする事で、またスイカやメロン・トウモロコシの収穫イベントでは“取れ立て”を直接味わうことで、自然の恵みの素晴らしさを知る活動となりました。



キュウリは豊作です



スイカ収穫祭り

### ●環境講演会

環境月間である6月の1ヶ月間において、環境保全の意識を深めるための活動として各拠点で環境講演会を実施しました。

#### 本社：「PM2.5(微小粒子状物質)について」

「過去、日本は深刻な大気汚染問題を抱え改善してきた」「過去の日本と似た問題を抱えた大陸からPM2.5が長距離輸送され、日本での大気汚染濃度上昇の有力な原因となっている」ことを資料・研究結果から教えて頂きました。PM2.5の発生源とされる「燃焼」は経済の発展と密接な関係があり、経済発展と環境保護の両立の難しさを考えさせられる講演会でした。



本社にて

#### 京都工場：「循環型社会に向けた取り組みについて」

廃棄物の種類と区分、関連する法令、リサイクルから京都府における廃棄物処理の現状や循環型社会形成計画、その他の施策等のレクチャーを頂き、一人ひとりが環境に対する意識、思いやりを持つことが重要であると再認識する講演会となりました。



京都工場にて

#### 滋賀工場：「琵琶湖の水草について」

琵琶湖で最近増加し水質悪化の原因となっている水草への対策について講演頂きました。「水草の発生量が多く大型の刈取専用船でも対応しきれない」「烏丸半島に自生するハスが激減したのは過密な生育環境による自滅が原因である」など興味深い話が多く、環境問題をより身近に学ぶことができました。



滋賀工場にて



## ●「くるくるプラザ吹田市資源リサイクルセンター」見学

環境委員会では社員の環境意識向上のため、自然や環境に関連した外部施設を実際に見学し、「環境社内報“SKEECO”」で全社員に紹介する啓蒙活動を行っています。

2017年2月には吹田市資源リサイクルセンター、通称“くるくるプラザ”を訪問しました。この施設は資源ゴミや大型ゴミの分別・破碎を行う破碎選別工場と市民のリサイクル活動を推進する環境啓発施設が一つになった複合施設です。破碎選別工場では資源ゴミの分別作業の様子を見学させていただきました。普段何気なく捨てているゴミがどのような処理を経てリサイクルされているかを学び、分別のあり方について考えさせられました。



資源ゴミ分別の様子



リユース食器

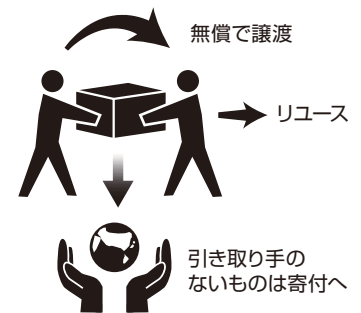


社内報「SKEECO」

## ●ほりかわ戻り市

当社では、個人で不要となったモノを募り、社員間でリユースする、「ほりかわ戻り市」というイベントを毎年1回開催しています。

開始してから今年で7回目となります。社員への認知度アップに伴い参加人数も少しずつ増えてきて、毎年恒例のイベントとなりつつあります。社員から集まる品物も、使わないお皿やおもちゃ、高級タオル、衣服、書籍など多岐にわたります。このイベントを通して、社員一人ひとりが限りある資源の大切さを認識すると共に、身近なところから環境活動に意識を向けてもらいたいと考えています。



## 社会貢献活動

### ●エコキャップ運動

社会貢献活動の一環として2009年12月より「エコキャップ運動」を進めています。この運動はペットボトルのキャップを集め、リサイクル業者に売却し、キャップの再資源化で得た売却益により「発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈る」ことで「再資源化」「CO<sub>2</sub>の削減」だけでなく、「社会貢献」にも寄与することを目的としています。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点へ回収ボックスを設置した結果、2016年10月から2017年9月までに集まったエコキャップは**9,683**個でした。これにより**約6人分のポリオワクチン**購入が可能となり**76.26kgのCO<sub>2</sub>が削減**できました。

今後も引き続き社会貢献の一環として「エコキャップ運動」に取り組んでいきます。



## ● 第8回本社地域環境活動「堀川周辺清掃活動」

本社付近の地域環境活動として、堀川周辺の清掃活動を続けており、8回目となる今年は2016年11月に活動を行いました。社員の家族も含めた多くの参加者が会社の休日に集まり、会社前から二条城までの堀川通りを往復3.4kmにわたって清掃しました。

堀川通り周辺は、古くからのお寺や神社が多く世界各国からも多数の観光客が訪れる地域ですが、一方で堀川通りは京都市内で最も車線の多い南北の通りでもあり、残念ながらタバコの吸殻や空缶のポイ捨てがまだまだ多く見られます。

さて活動結果については、収集量27.6kgと前回の活動より約7.0kgの増加となりました。今回は大型ゴミ(スキー板・鉄くすなど)の収集を参加者が積極的に行ったことがゴミ増加の要因と考えます。清掃活動により、拾った分だけ確実に街はきれいになります。今後も活動を継続して、社員や地域の皆さんの環境意識を高めていきたいと思います。



本社玄関での集合写真



堀川通り清掃活動



回収したゴミ

## ● 第9回京都工場地域環境活動「近鉄大久保駅周辺清掃活動」

京都工場では、環境保全活動と地域貢献を目的とした「近鉄大久保駅周辺清掃活動」を、毎年実施しており、今年も、2017年4月に実施しました。

「当社の社員やお客様も利用する大久保駅」の駅周辺をきれいにしようと、新入社員や他の事業所の社員、家族も加わり総勢25名の参加がありました。空缶やペットボトル、タバコの吸殻、壊れた傘などポイ捨てと思われるものが多かったのが残念でしたが、それでも駅周囲は例年よりきれいになった印象がありました。

この日回収したゴミは6.45kgで、確実にこの分だけ街がきれいになりました。この活動を見て、ポイ捨てを控える方が増えることを祈りつつ、また参加者自身の環境意識の高まりを感じた有意義な清掃活動でした。

今後も、社員やその家族の環境意識を高めるために活動の輪を広げ、地域貢献活動を継続してまいります。



大久保駅バスターミナル前での集合写真



大久保駅から西へ



回収したゴミ

## ● 第2回滋賀工場地域環境活動「琵琶湖外来魚駆除大会」

昨年から滋賀地域での環境イベントとして琵琶湖湖岸緑地において琵琶湖の生態系を環境保全する外来魚駆除活動を始めました。

参加人数は、他のイベントに比べるとご家族での参加が多く、親子で共に楽しみながら外来魚の駆除をされていました。普段触ることの少ないミミズを餌に付け、投入するとブルーギルが釣れ、あちこちで歓声が上がっていました。わずか1時間半と短い時間でしたが楽しみながら環境問題に寄与できる貴重なイベントとなりました。

釣りイベント後には、琵琶湖畔で「お疲れ様バーベキュー大会」も開催。開放的な湖岸緑地でのバーベキューには「また来年も来たい」との、みなさんの喜びの声もいただきました。



外来魚駆除活動集合写真



社員の家族も  
楽しく参加



釣り上げた  
ブルーギル



お疲れ様  
バーベキュー大会



## 環境保全活動

### ● 太陽光発電システム

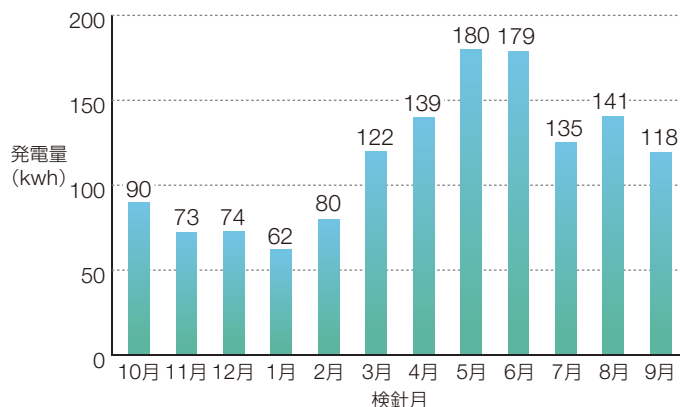
京都工場では、「クリーンエネルギー」である太陽光を利用した太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下のとおりでした。

今期の積算〈2016年10月～2017年9月〉

検針月	月次積算量(kwh)	総積算量(kwh)
10月	90	16,188
11月	73	16,261
12月	74	16,336
1月	62	16,398
2月	80	16,478
3月	122	16,601
4月	139	16,740
5月	180	16,920
6月	179	17,100
7月	135	17,236
8月	141	17,377
9月	118	17,493
合計	1,393	17,493

※総積算量については、2005年1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



## 今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い品質で環境に優しい製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

### ①環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も継続的かつ積極的に実践し、社員の更なる環境意識の向上を図ってまいります。また、従来の「エネルギー使用量削減」に加えて、「有害物質に配慮した製品含有化学物質管理」を新たな目標に加え、多面的な活動を行ってまいります。

### ②社会貢献活動の実践

毎週定期的に行っている本社・京都工場周辺の清掃活動は13年目を迎えました。また、本社近辺での堀川周辺地域清掃や京都工場に訪れるときに利用する近鉄大久保駅周辺の地域清掃を実施しております。全社で行なっている「エコキャップ運動」「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

### ③環境保全活動の実践

滋賀工場を有する当社では環境保全活動の一環として、昨年に引き続き滋賀県での実践活動として、「琵琶湖外来魚駆除の日」に合わせて行われているブルーギル・ブラックバス等の外来魚駆除を行う活動へ参加しました。今後も新しい活動を検討することにより、社内の輪を広げたいと考えています。

## 会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスク事業	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	336名(2017年9月30日現在)	



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**  
**[www.sk-el.co.jp](http://www.sk-el.co.jp)**

本 社 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2  
TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291